

第 63 回日本生殖医学会学術講演会が、9 月 6 日・7 日の 2 日間にわたり、旭川にて開催される予定でした。

しかし、9 月 6 日 3 時 8 分に胆振東部地震が発生し、すべて中止になりました。

被災された方々にはお悔やみとお見舞いを申し上げます。

当院から、口演とポスターを 1 題ずつ発表予定でしたが、叶いませんでした。

当時、培養士 2 名が旭川にいましたが、無事に帰ってこられたのは不幸中の幸いでした。

今回、停電および停電による水道の停止を実体験して、ラボに生かせるのではないかと気づいたことを反映させ、災害対策をより強化しようと思いました。

発表テーマ

発表『透明帯の菲薄範囲と着床率の関係』

当院ではレーザーを用いて胚の殻に当たる部分である透明帯の菲薄(ひはく)を行なっていますが、レーザーを当てる範囲を変えて後方視的に検討することにより、適切な菲薄範囲を求めました。

ポスター『当院における TL 運用の実際』

TL とはタイムラプスのことです。当院独自のスコアリングや解析の方法を図や画像を用いわかりやすく示し、TL の運用についてまとめました。